

## NPO法人シニア自然大学校「自然観察会」

里山学研究センター・博士研究員

太田 真人

龍谷大学先端理工学部・実験講師 里山学研究センター・副センター長

林 珠乃

龍谷大学先端理工学部・教授 里山学研究センター・研究員

宮浦 富保

2023年1月21日にNPO法人シニア自然大学校の地球環境自然学講座における自然観察会が瀬田学舎隣接地（龍谷の森）で行われました。講座の参加者は34名であり、里山学研究センターからは林珠乃副センター長、宮浦富保研究員、太田真人博士研究員が対応をした。

まず午前中は林副センター長が、「龍谷の森での里山保全」というタイトルで日本における里山の働きや位置づけ、「龍谷の森」での保全活動の内容や経緯をまとめた講義を1時間程度行った。その後、3グループに分かれて龍谷の森に入り自然観察を行いながら森ラボへ向かった。昼食を森ラボ周辺でとり、その後「龍谷の森」里山保全の会の皆さんの指導のもと、コロナ禍以前に集めていた堆肥を掘り出すチームと龍谷の森内の落ち葉を集めるチームに分かれ1時間半ほど作業を行った。落ち葉集めのチームは里山保全の会が進めている森づくりに沿うように落ち葉集めを行った。掘り返した堆肥の一部はシニア大学の参加者の方が分けて持って帰られた。3年寝かされた堆肥であるため質が非常に良く、喜んでおられた。

帰りは堂町の方を回り、田上山の様子などを見ていただいた。自然観察での山登りや落ち葉かきなど一日中動いたため、疲労も多かったと思うが「やっぱり山の中はいいね」などのお声をいただき、自然の中を満喫していただけた会となった。



午前の講義の様子



堆肥の掘り起こし



落ち葉集め



集合写真

(撮影：太田)